



# 田んぼ de ミュージカル



9月6日胆振東部地震が起き、厚真町・鶴川町・安平町をはじめ札幌市内も大変な被害が発生しました。管理センターでも、被害を受けられた方々に何か役立つことはできないかと考えていました。

2002年、当時の穂別町（現在は合併し鶴川町）の高齢者が中心となって「田んぼ de ミュージカル委員会」を立ち上げました。地元の歴史をたどり、町の合併を乗り越え、映画を作り、撮り続けています。地域での映画上映にかかる者として、こうした活動に支援の気持ちを届けたいと考え、12月の上映作品を変更させていただきました。

当日は、鶴川町から制作委員会の代表の方に来ていただき、映画製作に至る経緯や活動状況と共に地震の被害状況についてお話しいただきます。沢山の方々のご参加をお待ちしております。

## 12月11日(火) 13時半～16時

- ◆場所 もみじ台管理センター2階大ホール
- ◆参加料 300円/1人（お茶・お菓子代として）
- ◆定員 80名
- ◆申込み もみじ台管理センター (011-897-7431)

※支援募金のお願い 当日、田んぼ de ミュージカル委員会にお渡しします。



こみあげる感動。

# 田舎 de ミュージカル

わしらがつくった  
自慢の映画。

‘02毎日自治大賞奨励賞受賞  
‘02ほべつサウラの帽子賞受賞



戦争があつた。コメづくりに奮闘した。  
愛があつた。村はあたたかかつた。

【物語】

貧しい大豆畑の農家から脱する決意で戦地へ行き復員した源次郎は、人が変わったように無口になり、ひたすら働くばかりだった。村人たちがあたかい

なかつた源次郎と千代の結婚式を行う。披露宴の中で千代は昔の結婚式の幻想にひたり、家族の思いやりが父と子を和解に導いていく。



勧めで、出征前に見合いをした千代と結婚。食糧難のなか冷害や洪水と闘いながら稲作に励み、宮内庁の献穀米に選ばれる。しかし米の減反が始まると息子

はメロン栽培への転換をはかり、源次郎

と対立する。そんな時に千代が

病に倒れ、嫁の里子と孫たちが、戦争のため



豊かな森林と清流のまち穂別は、北海道内にいち早く有機農業と健康のまちづくりに取り組みました。人口約4千人の小さな過疎のまちですが、穂別米は道内でベスト10内にあり、穂別空港から車で約1時間。

## うまい米とメロン 北海道穂別町

人にはいくつかの扉がある。この映画で高齢者たちは創造といふ扉を開けた。その生き生きとした表情を見てほしい。世界中の農村の人たちに見てもらえたらしい。

崔 洋一（映画監督）

## 世界中の農業者に贈る



出演者平均年齢74歳。

企画も撮影も編集もすべて初めて。

■出演／梅藤和男・棚橋幸子・

鎌田義明・鎌田喜美子・安田由造・佐々木秀吉・山崎良子・高田行雄・山本義栄・長岡豈谷・

佐藤元美・栗原知香恵・原大智・柴田歌子・穂別町民121人・

若小牧ほべつ会のみなさん

■脚本／斎藤征義■撮影／星勇

■音楽／中野憲明■記録編集／

本多紀子・小瀧眞弓・宮上勝幸

■振付／三上由起子■美装／高橋安佐子■衣裳／丸山範子■技

術指導／宮崎利春

■製作／田んぼdeミュージカル実行委員会 原田幸一

■総合指導／崔 洋一

■監督／伊藤 好一